

COVID-19流行下での診療のポイント

(5月11日～末頃までを想定)

COVID-19対策本部(文責:川本未知)

患者の分類と診療体制

感染対策の観点と不統一による混乱をさけるため、すべての場所において3パターンに患者を分類し診療に当たる

- ・COVID確定(レッド)・・・PCR陽性確認症例
- ・COVID疑い(グレー)・・・発熱もしくはCOVID様有症状者
COVID様症状＝
発熱、気道症状、味覚異常、呼吸困難、画像等で肺炎を呈するもの
来院時、意識障害等で病歴が確認できないもの、CPA症例を含む
- ・COVIDを否定できない(シロ)・・・上記以外の症例
COVID様症状がない(腹痛のみ、骨折、外傷など)
発熱はあるが、経過・血液検査・画像所見等より代替診断が可能
呼吸困難はあるが肺炎以外の診断が可能 等
(但し、流行期には無症候COVID混じる可能性があることを念頭に置く)

院内感染防止のための診療体制

- ・患者の色(シロ・グレー・レッド)ごとに病棟を分けて管理するとともに、医師、看護師、理学療法士等診療者も可能な限りチームを分けて(シロ/グレー・レッド)診療にあたる
- ・患者-患者、患者-医療者感染のリスク軽減と、万一の感染発症時の濃厚接触者数を減らす目的で、患者にマスク、医療者にはマスクとアイシールド着用を基本とする
- ・院内感染再発防止にむけた対策、特に個人の感染防御策、職員間感染予防を強化する(チェッカーを配置しICNと連携し、各人の感染防御の底上げを図る)
- ・予定入院患者は2週間前より自宅待機(stay home)、症状日誌を記載(資料1)
- ・エアロゾル発生する手術症例では入院前にPCR・CTを行う(資料2)
- ・血液内科等ハイリスクの予定入院もPCR検査を行う(12時からの枠で自科対応)

COVID-19疑いで入院した患者の感染対策解除基準

注意：
COVID-19の潜伏期間は2-14日。入院の原因がCOVIDでない場合も入院前の感染で入院後14日以内に発症するリスクは存在する

判断に迷う場合 感染症科相談

COVID疑い例が入院

- ・咽頭ぬぐい液PCR提出、CT撮影を考慮
- ・結果が出るまではCOVID-19として感染対策

1回目PCR陰性

1回目PCR陽性

代替診断あり
(経過、血液検査、画像等)

臨床的にCOVID疑い

COVID感染対策
レッド病棟へ

COVID感染対策終了
シロ病棟へ

感染対策継続 CTも考慮
2回目PCR

2回目PCR陽性

代替診断ありcovidの可能性低

2回目PCR陰性

それでもcovid疑う経過

発症7日目にPCR

COVID診療体制

シロ

グレー

レッド

ER

1次ベッド（軽症）
2次ベッド（中等症・重症）
【振り分け】 ER医
【初療】
平日日勤：各診療科シロ担当医
当直帯：内科(救急)当直、各診療科当直

3次ベッド（中等症・重症）
感染症部屋（軽症）
【初療】
ERグレー/レッド担当
→各科グレー/レッド救急当番、当直

3次ベッド（陰圧室）
感染症部屋（軽症）
【初療】
ER医：グレー/レッド担当医
→各科グレー救急当番、当直
すみやかにEICUかCOVIDチームへ引継ぐ

病棟

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

病棟診療

平日日勤：シロ担当各科主治医、
当直帯：内科(病棟)当直、各診療科当直
RRS：平日日勤 RRS当番
当直帯 内科(病棟)当直

平日日勤：グレー担当各科主治医
当直帯：内科(救急)当直、各診療科当直
RRS：平日日勤 EICU担当者
当直帯 EICU担当者

EICU/CCU治療：集中治療医
[Redacted] 治療：COVIDチーム
主治医：各科持ち回り
レッドゾーンに入らず、IC、事務手続き
担当→シロになれば全面主治医

病棟PPE

- ・手指衛生・サージカルマスク・アイシールド
- ・体液に触れる可能性あれば手袋
+エプロン(採血・ルート確保を除く)
(接触の程度でガウンを着用)

- ・手指衛生・サージカルマスク・アイシールド
- ・長袖ガウン・手袋
- ・エアロゾルの発生する手技
(挿管・吸引・吸入)はN95+サージカル

- ・手指衛生・サージカルマスク・アイシールド
- ・長袖ガウン・手袋
- ・エアロゾルの発生する手技
(挿管・吸引・吸入)はN95+サージカル

手術処置PPE

- ・手指衛生
- ・サージカルマスク・アイシールド
- ・長袖ガウン・手袋・足袋
- * **エアロゾル発生する手術・手技**
→ **N95マスク+サージカル**
- ・排気装置または換気

- ・手指衛生 ・ **N95+サージカルマスク**
- ・アイシールド・長袖ガウン
- ・二重手袋・足袋
- ・陰圧室
- * 可能であれば、シロ確認後の手術・処置
が望ましい

- ・手指衛生
- ・ **N95+サージカルマスク**
- ・アイシールド・長袖ガウン
- ・二重手袋・足袋
- ・陰圧室

ER初療診療マップ(目安)

1次(シロ)

COVIDを否定できない
軽症-中等症
(状態の安定している患者)

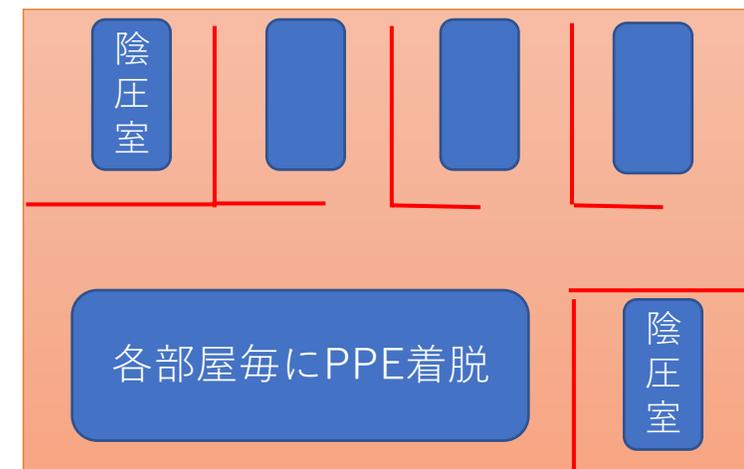
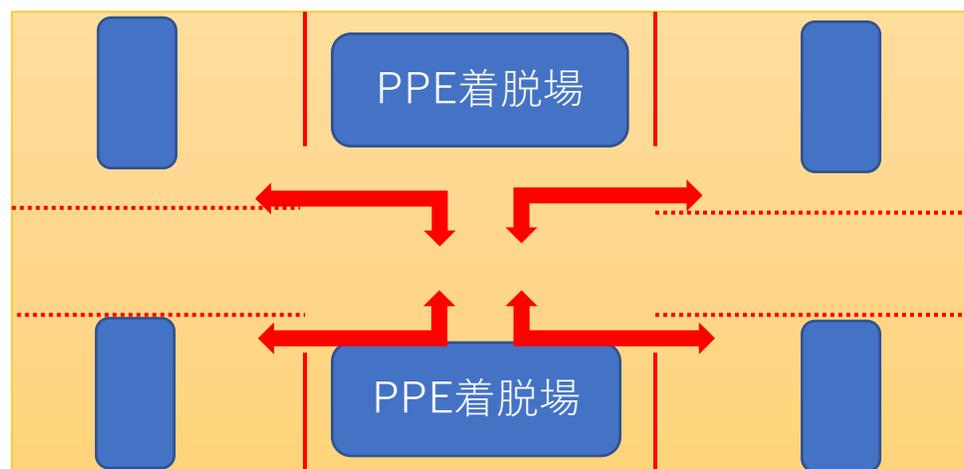
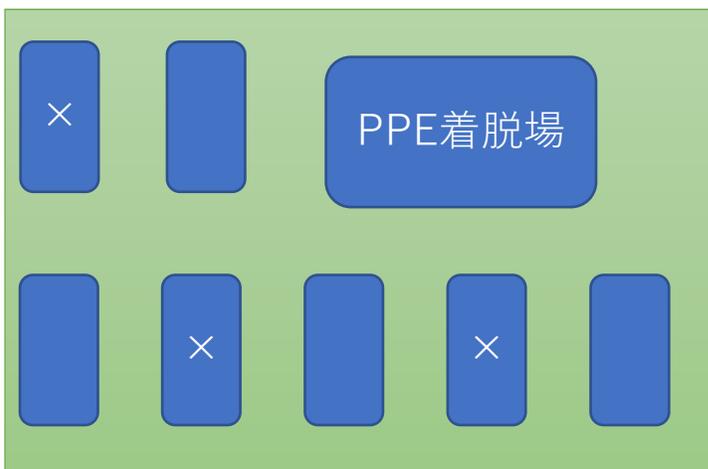
2次(シロ)

COVIDを否定できない中等症-重症

3次(グレー/レッド)

COVID確定・疑い(中等症以上)
3次診療が望ましい重症

診療に応じて患者の診療場所移動は可能
2次、3次のPPE着脱は**ベッド毎**に行うこと



夜間・休日の内科当直の業務分担（5/11～）

内科病棟当直が対応

内科ER当直が対応

シロ

グレー

レッド

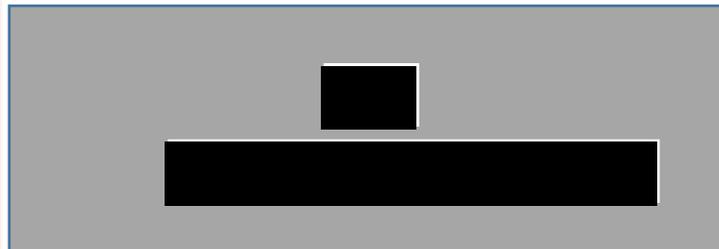
ER

1次ベッド(軽症)
2次ベッド(中等症・重症)

3次ベッド
感染症部屋(軽症)

3次ベッド(陰圧室)
感染症部屋(軽症)

病棟



病棟診療の1st call

- ◆ G-ICU → ICU医
- ◆ それ以外 → 内科病棟当直

病棟診療の1st call

- ◆ E-ICU/CCU → ICU医
- ◆ [blacked out] → COVIDチーム当直医
- ◆ [blacked out] → 内科ER当直

外科系手術部門での診療体制

- 定期手術
 - ✓ 通常の2割程度で予定手術を計画し、5月11日より再開予定。
 - ✓ 今後は重症部門の病床運営も考慮しつつ、各科手術予定を取りまとめたうえで調整する。
- 術前スクリーニング体制
 - ✓ 手術目的に入院する全ての患者(入院外でも当該科判断)を対象とする。
 - 入院前2週間の自宅待機の徹底と健康記録の確認(同意書取得)
 - 入院前日(週末・月曜日入院は前週の金曜)のPCR検査とCT撮影
 - ✓ スクリーニング結果の対応
 - PCR陽性 : 手術延期、COVID病棟入院
 - PCR陰性、CT異常所見あり*1 : 手術延期、自宅待機またはグレー病棟入院*2
 - 検査陰性、健康記録異常あり : 手術延期を検討、自宅待機または入院*2
 - 検査陰性、健康記録異常なし : 一般病棟入院*3、手術
 - *1:呼吸器内科医師に所見を確認する
 - *2:感染症科と相談の上で入院病棟含め決定する
 - *3:検査当日入院患者は結果が出るまでは当該科病棟での個室入院管理、または外来で待機する
- 院内COVID-19陽性(または疑い)患者の手術対応マニュアルは対策本部会議での承認を経てWEBMINK掲示予定。

高リスク検査への対応(外来、入院)

- 高リスク検査とはエアロゾルが発生する可能性があるもの
- 気管支鏡検査、内視鏡検査、経食道エコー、呼吸機能検査の4つ
- 対応方法
 1. 不要不急の検査を避ける
 2. 2週間の自宅隔離を原則とする
 3. N95マスク+アイシールド+長袖ガウン+手袋+可能な限り陰圧
 4. 陰圧ができないときは換気(例 透視室23分、内視鏡室46分など)

〈経食道心エコー図検査の例〉

感染防護:N95マスク、手袋、アイシールド、長袖ガウン。個室でドアを閉めて行う。

患者と検者の間にはビニールシートを貼る。修理後は十分な換気(20分)後にアルコールで拭き取りを行う。

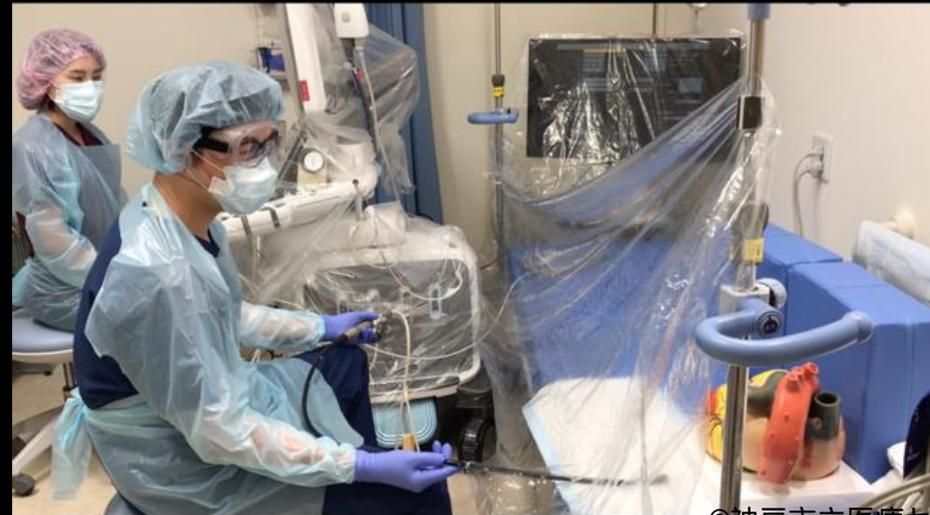
①超音波装置の防護
90Lビニール袋3枚



③遮蔽用ビニールシート(飛沫対策)
机に張る厚いタイプをカットして利用



④ドアを閉め換気を最大に
検査中のエアロゾル発生は不可抗力



透析およびチェッカーについて



・透析について

COVID患者の透析に人手を要するため、1日の透析人数に上限がある

透析患者の入院に際しては、透析当番に前もって連絡した上で入院日を決定する

・チェッカーの導入

医師を中心とした手指衛生の不徹底、PPEの不適切な使用、レッドゾーンへの不用意な侵入がみられている

ICTによるチェックには限界があり、各病棟レベルでの感染防御の底上げが必要



各病棟担当**リハビリ療法士**が感染管理の**チェッカー**としての役割を担当

PPEの着脱や手指衛生、物品の取り扱いなど現場チェック

問題点をICNと相談してチェックリストを充実させ、現場にフィードバックする

最終的には多職種の人をチェッカーとして育て**病院全体のレベルアップ**が目標

資料1 (手術なし 入院前同意書、症状日誌)

入院・検査予定の皆様へ (説明文書 兼 同意書)

新型コロナウイルス感染症は、無症状の患者さんから他人に感染させることがあります。また、罹患した患者さんの20%程度の方が重症化するため、感染している患者さんは症状がなくても入院や治療を延期することが安全です。また患者さんの感染が入院後に判明しますとご自身の担当医を含めて多数のスタッフが勤務停止となり、場合によっては病院機能の縮小、停止に至ります。そのため、これから入院される皆様にはいくつかのお願いと検査をさせていただきます。

- 入院日の2週間前から家の外に出ないでください。どうしても外出せざるを得ない場合にはマスクをして、人と2メートル以内に近寄らないようにし、換気の悪い空間、多くの人が集まる場所、近くで会話するような状況(いわゆる「三密」)を絶対に避けてください。同居の方も可能な限りこれを守ってください。外出禁止は、患者さんご自身が安全に手術を受け、スムーズに手術後の治療を受けられるためにとても大切ですので必ず守ってください。
- 入院日の2週間前から朝晩の体温を測って症状日誌に記録してください
- 2週間の待機期間中にご自身や同居されている方に以下の症状等があった場合は平日の9時~17時の間に担当医へご連絡下さい
 - ・発熱(37.5度以上や37度以上が続く場合)
 - ・風邪のような症状
 - ・味やにおいがわからないといった症状
 - ・患者さんご自身が感染者であった、あるいは同居されているもしくは職場などで接触した方の中に新型コロナウイルス感染者や感染者の濃厚接触者がいた場合
- 胸部単純CT(指示された必要な方のみ)
- 鼻腔検体のPCR検査(同上)

※3と4の検査費用に関しては患者さんにかかる負担はありません。

入院・検査の日ともマスクを着用ください。また入院される方は入院中に使用するマスクもご持参ください(できれば1日1枚)。

入院前の注意事項、検査につき説明を行いました。説明日:令和 年 月 日

医師署名 _____ @SYUSRNAME@ _____

※医師署名欄:ワープロ入力される場合は必ず印をお願いします。

立会者署名 _____ (職種: _____)

説明内容を理解し同意しました。同意日: 令和 年 月 日

本人署名(自筆) _____

本人が説明を理解できない場合(子ども、意識障害がある など)

【新型コロナウイルス対策 検査及び入院前症状日誌】 お名前(_____)
検査もしくは入院当日まで記入して持参してください。

		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
1	朝の体温	度	度	度	度	度	度	度
2	夜の体温	度	度	度	度	度	度	度
3	喉の痛みや咳、鼻水はありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
4	疲労感やだるさがありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
5	味や臭いに異常がありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
6	下痢など、おなかの具合が悪いですか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
7	その他、何か変わったことはありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
8	感染者と接触した可能性がありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
9	同居の家族に上記3-8がありますか?	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						

その他気になることがありましたお書き下さい。

※ 症状日誌は、7日分を2枚記載いただく



資料2 (手術あり 入院前同意書、症状日誌)

手術のために入院予定の皆様へ (説明文書 兼 同意書)

新型コロナウイルス肺炎は、手術後に発症すると約 20%が死亡されたという報告もあり、症状がなくても感染している患者さんは手術を延期することが安全です。また患者さんの感染が入院後に判明しますとご自身の担当医を含めて多数のスタッフが勤務停止となり、場合によっては病院機能の縮小、停止に至ります。そのため、これから入院される皆様にはいくつかのお願いと検査をさせていただきます。

- 入院日の2週間前から家の外に出ないでください。どうしても外出せざるを得ない場合にはマスクをして、人と2メートル以内に近寄らないようにし、換気の悪い空間、多くの人が集まる場所、近くで会話するような状況(いわゆる「三密」)を絶対に避けてください。同居の方も可能な限りこれを守ってください。
外出禁止は、患者さんご自身が安全に手術を受け、スムーズに手術後の治療を受けられるためにとても大切ですので必ず守ってください。
- 入院日の2週間前から朝晩の体温を測って症状日誌に記録してください
- 2週間の待機期間中にご自身や同居されている方に以下の症状等があった場合は、平日の9時～17時の間に担当医へご連絡下さい
 - ・発熱(37.5度以上や37度以上が続く場合)
 - ・風邪のような症状
 - ・味やにおいがわからないといった症状
 - ・患者さんご自身が感染者であった、あるいは同居されているもしくは職場などで接触した方の中に新型コロナウイルス感染者や感染者の濃厚接触者がいた場合
- 胸部単純CT(入院の前日、もしくは直近の開院日)
- 鼻腔検体のPCR検査(同上)

※3と4の検査費用に関しては患者さんにかかる負担はありません。

CTとPCR検査の来院時に「PCR検査、CT検査を受けられる患者様へ」に記入いただき検温結果とともに案内のものに提出してください。結果によっては、検査を行わず手術を延期することがあります。これらの検査結果は担当医よりお電話でお伝えします。予定通り入院の場合は「本日入院される患者様へ」を入退院窓口に提出ください。

検査の日、入院の日ともマスクを着用ください。また入院後に使用するマスクもご持参ください(できれば1日1枚)。

入院前の注意事項、検査につき説明を行いました。 説明日：令和 年 月 日

医師署名 _____ @SYUSRNAME@ _____

※医師署名欄：ワープロ入力される場合は必ず印をお願いします。

立会者署名 _____ (職種： _____)

説明内容を理解し同意しました。 同意日： 令和 年 月 日

本人署名(自筆) _____

本人が説明を理解できない場合(子ども、意識障害がある など)

【新型コロナウイルス対策 検査及び入院前症状日誌】 お名前 (_____)
検査もしくは入院当日まで記入して持参してください。

		(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)	(/)
1	朝の体温	度	度	度	度	度	度	度
2	夜の体温	度	度	度	度	度	度	度
3	喉の痛みや咳、鼻水はありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
4	疲労感やだるさがありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
5	味や臭いに異常がありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
6	下痢など、おなかの具合が悪いですか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
7	その他、何か変わったことはありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
8	感染者と接触した可能性がありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						
9	同居の家族に上記3-8がありますか？	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ						

その他気になることがありましたお書き下さい。

※ 症状日誌は、7日分を2枚記載いただく

